

2020年1月吉日

各位

平成31年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(厚生労働科学特別研究事業)
「2020年オリンピック・パラリンピック東京大会等に向けた
包括的なCBRNEテロ対応能力構築のための研究」
研究代表者：国立病院機構 災害医療センター 臨床研究部 小井土雄一

「第四世代神経剤 医学的管理の指針(仮訳)」に関する
アンケート調査へのご協力をお願い

寒冷の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、本研究班の分担研究であります「CBRNEテロ発生時の傷病者対応アウトリーチツール作成に関する研究(化学テロ対応)」(研究分担者 公益財団法人中毒情報センター 水谷太郎)では、平成31年度(令和元年度)研究事業の一環として、「第四世代神経剤 医学的管理の指針(仮訳)」を作成させて頂くこととなりました。本指針は、本邦ではなじみの薄い第四世代神経剤(ノビチョク(※)等)について、米国保健福祉省が公開している情報“Fourth generation agent: Medical management guidelines”の抄訳として、日本の国情に合わせ一部を割愛するとともに情報源等を追加したものとなります。

また本研究では、化学テロの医療対応の情報提供のあり方に関する実証研究の一環として、本指針(仮訳版)についてのアンケート調査を実施させて頂き、臨床現場でご活用頂くにあたり、幅広く医療従事者の方々よりご意見・ご要望を頂戴し、一層の改善に努めてまいりたいと考えております。

つきましては、ご多忙中恐れ入りますが、本指針(仮訳版)をご覧頂いた上で、以下のURLよりアンケートにご回答いただき、忌憚ないご意見を頂戴できればと存じます。

※ノビチョク：1970～80年代にかけてソビエト連邦で開発された神経剤。2018年3月・6月にイギリスでロシアの元スパイ等に対して使用された。毒性、検知、残存性、発症までの潜伏時間などが他の神経剤と異なる可能性があるとされている。

アンケート URL : <https://jp.surveymonkey.com/r/FJCFQMY>

アンケート締切：2020年2月29日

お問い合わせ先：

国立病院機構災害医療センター

事務担当：河西

メールアドレス：kasai@dmат.jp

TEL 042-526-5701

FAX 042-526-5706